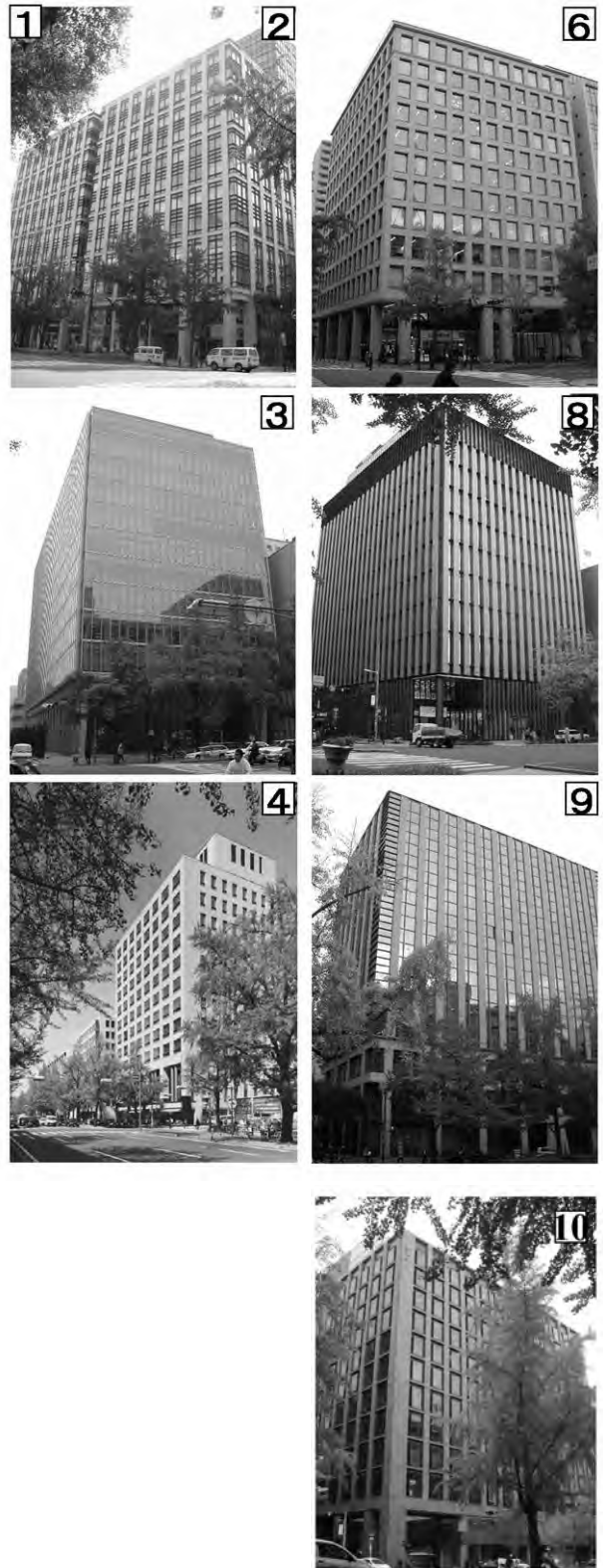


御堂筋まちなみ誘導制度を適用し、現在 10 軒が建設され、新しい御堂筋のスカイラインの形成と、ゆとりある歩行者空間が創出されつつある。

図 対象地域



建替え更新された事例の一部



建築物の壁面後退により創出された
ゆとりある歩行者空間



出典：大阪市

撮影：大阪国道事務所

建築美観誘導制度

- 本制度は、御堂筋の沿道において建築物の新築等を行う際に、建築物の配置や一階部の形態、広告物などについて誘導を行っている。
※御堂筋まちなみ誘導制度区間（土佐堀通～中央大通）は除く

【対象区間】 梅田～淀屋橋、本町～難波までの御堂筋に接する敷地

【基本理念】

シンボリストリートとして多くの人々を惹きつける魅力的なまちなみに

図 建築美観誘導制度



出典：大阪市

④ 彫刻

- 御堂筋をアメニティ豊かな芸術・文化軸として世界に誇る彫刻ストリートとするため、人間賛歌をテーマとした 29 体の彫刻が沿道企業等の寄付により設置されている。

図 彫刻設置図



表 彫刻一覧

| | | | | | | | | | | | |
|----|---|----|--|----|--|----|---|----|--|----|---|
| 1 | みどりのリズム 寄付者 株式会社第一勧業銀行(現 株式会社みずほ銀行) | 2 | 休息する女流彫刻家 寄付者 日本生命保険相互会社 | 3 | 座る婦人像 寄付者 株式会社大林組 | 4 | 姉妹 寄付者 東京海上火災保険株式会社(現 東京海上日動火災保険株式会社) | 5 | みちのく 寄付者 株式会社三和銀行(現 株式会社三菱東京UFJ銀行) | 6 | 陽光の中で 寄付者 株式会社アクセス |
| 7 | ジル 寄付者 株式会社さくら銀行(現 株式会社三井住友銀行) | 8 | 火の王 No.1 寄付者 大阪ウォーターフロント開発株式会社 | 9 | 若い女 寄付者 株式会社日本長期信用銀行(現 株式会社新生銀行) | 10 | 腕を上げる大きな女 寄付者 株式会社住友銀行(現 株式会社三井住友銀行) | 11 | 渚 寄付者 田村駒株式会社 | 12 | 道東の四季-春 寄付者 清水建設株式会社 |
| 13 | ブレタのヴィナス 寄付者 株式会社三保造船所 | 14 | ヴェールを持つヴィナス 寄付者 鴻池グループ | 15 | 少年と少女 寄付者 大阪市 | 16 | ダンサー 寄付者 株式会社東京銀行(現 株式会社三菱銀行) | 17 | ボジョレーの娘 寄付者 三井住友海上火災保険株式会社 | 18 | 水浴者 寄付者 株式会社富士銀行(現 株式会社みずほ銀行) |
| 19 | ヘクトルとアンドロメケ 寄付者 株式会社日本興行銀行(現 株式会社みずほ銀行) | 20 | 啓示 寄付者 ハタダ株式会社 | 21 | 大空に 寄付者 武田薬品工業株式会社 | 22 | イヴ 寄付者 大阪瓦斯株式会社 | 23 | 踊り子 寄付者 株式会社長谷工コーポレーション | 24 | 女のトルソ 寄付者 湯浅富一、湯浅禮子 |
| 25 | レイ 寄付者 三井不動産株式会社 | 26 | アコーディオン弾き 寄付者 株式会社竹中工務店 | 27 | 髪をとく娘 寄付者 株式会社淀川製鋼所 | 28 | 二つに分断された人体 寄付者 伊藤忠商事株式会社 | 29 | 布 寄付者 株式会社大和銀行(現 株式会社りそな銀行) | | |

出典：大阪市HP

(3) 御堂筋のイベント

- 御堂筋では、良好な景観を活かして、大阪のメインストリートをより快適で賑いのある空間にするため、市民や観光客の参加型のイベントが継続的に開催されている。

① 御堂筋オープンフェスタ（平成15年～）

■概要

- 御堂筋の新橋交差点(長堀通り)から難波交差点(千日前通り)までの区間約850mの車道(本線4車線、側道2車線)を歩行者に開放し、地域の市民団体等にイベント活動の場を提供することで、広く一般の方々に御堂筋の新しい魅力を発見する。

■目的

- 大阪のシンボルロード「御堂筋」の道路空間を活用して周辺地域の回遊性やにぎわいづくりを創出し、さらに御堂筋の魅力を発信し、にぎわい文化集客機能の向上や大阪の都市再生を図る目的で実施している。

■実施

- 2003年度から実施しており、2008年では約33万人、2009年では約35万人が参加した。

写真 たくさんの人で賑わう御堂筋



撮影：大阪国道事務所

【参考】 御堂筋パレード（昭和 58 年～平成 19 年）

■概要

- （財）大阪 21 世紀協会主催であり、大阪市役所前から大阪高島屋前までの御堂筋 3.3km を舞台に、大阪府や大阪市、海外の姉妹都市、大阪府内の大手企業などが協賛したフロート（山車）、マーチングバンド、海外のおまつり、日本各地の郷土芸能、民踊や子どもみこし等を用いたパレードである。

■実施

- 1983 年に大阪城築城 400 年まつりと、大阪 21 世紀計画のプロジェクト立ち上げを記念して開催され、御堂筋完成 70 周年記念の 2007 年（第 25 回）まで実施した。毎参加人数 1 万人前後、毎観客数 100 万人以上が集まった。

写真 たくさんの人で賑わう御堂筋



出典：財団法人 21 世紀協会 H P

② 御堂筋kappo（平成20年～）

■概要

- 「御堂筋パレード」から“市民参加”のおまつりへ転換し、御堂筋内のいたるところで開かれるイベントやミニコンサート、大阪の企業が開発した商品や全国の特産品の販売など、観客が自由に見て回り、より一層の賑わいを創出する。

■実施

- 2008年度から実施しており、2008年では約30万人、2009年では約40万人が参加した。

写真 たくさんの人で賑わう御堂筋



撮影：大阪国道事務所